

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第33号

古牧だより通算127号

## 福祉自動車

# あいりーん号が新車に!!



平成15年10月に導入された福祉自動車は、7年を経過して走行距離が13万5千キロを超え、車両が老朽化したため、このほど入れ替えを行なって、8月8日(月)から新車による運行が開始されました。

今回の更新に際しては、各区をはじめ市当局のご協力をいただき実現いたしました。

地区内では歩行困難で通院等に不自由な生活をされている方が、現在160名「利用会員」として登録されています。16名の運転協力員

が交替で運転し、「あいりーん号」での支援は大変喜ばれ、発足からの延べ利用者は8,800名となりました。

当日のお披露目の式典は、小林逸郎福祉部会長のあいさつに続き、テープカットが行なわれました。その後、運転協力員代表の小林邦利さんの力強い安全宣言がなされ、又利用会員の飯塚英人さんからのお礼の言葉もいただき、新車は古牧公民館駐車場から、出席者の拍手の中、出発いたしました。



## 男性料理教室

### 「おやき作り」に挑戦!!

7月19日(火)福祉健康部主催の本年度2回目となる男性料理教室を、19名の参加を得て古牧公民館で開催しました。

食生活改善推進協議会の会員のご指導をいただき、参加されました男性の皆さん、初めてのおやき作りに挑戦しました。和気あい

あいの中で素材のなすを包むのに苦労している方もみえましたが、先生の指導でうまくいきました。

参加した皆さん、自分で作ったおやきをおいしく頂きながらとても楽しそうでした。

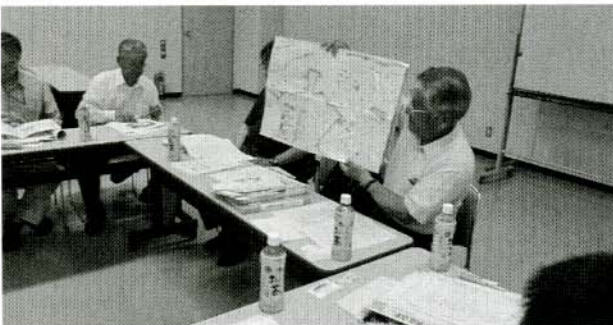


## 災害時要援護者の避難について学ぶ

地区振興部長 宮島 俊文

未曾有の災害をもたらした東日本大震災の発生により、地区振興部は昨年<sup>しんねん</sup>に続き災害時要援護者の避難について研修することに決め、東海地震に備え先進的な防災対策を実行している三重県を、7月13・14日に住民自治協議会長と古牧支所長の同行を頂き視察しました。

1日目は、地域自治組織を指導する伊賀市社会福祉協議会を訪問し、まちづくり活動が有名な柘植<sup>つげ</sup>地域の自主防災実行委員会長から説明を受けました。ここでは平成17年に「住民による見守りネットワークづくり事業」として始め、全区民が家族ごとに勤務先等の詳細な個人情報<sup>こじんじょうほう</sup>が記載された「安否確認・避難支援登録シート」を作成し、毎年、指定の避難場所に集合し、このシートを利用し安否の確認に重点を置き訓練をしているが、また、家族全員が参加する住民意識には至らないとのこと。地域の繋がりが強い所という印象を受けました。



翌日は、四日市市危機管理室で説明を受けました。平成16年の新潟・福島豪雨で高齢者等要援護者が犠牲になったことから、翌年に市が必要な要綱を制定し、要援護者が地域の助けで避難する自治組織作りを始め、昨年の段階では要援護者の86%が避難対策されているとのこと。

この研修で感じたことですが、「安心安全なまちづくり」の原点は、住民が災害で困った時に助け合う組織作りだと考えます。今回の大震災のような大災害時は、市役所等身近

な行政が被災し機能不全になり、遠方からの救援を期待するには数日間必要で、この間は地域の人<sup>ひと</sup>が協同で救援活動しなければ人命救助ができません。大規模災害時はそれぞれの自治単位で、不明者等の的確な情報から救助活動を行なうためには、生活している地域の居住情報や避難・救助訓練が重要です。

## 「立ち直り」を支える地域のチカラ

～あなたのあたたかいまなざしが、  
犯罪や非行のサイクルを変えます～

第61回社会を明るくする運動の、映画と講演会が平成23年7月23日(土)午後1時30分から古牧公民館2階集会室にて開催されました。

会場は熱気にあふれ、130名を超える人たちで盛会でした。

三陽中学校2年生鈴木万綾<sup>まあや</sup>さんの作文「出来ることから」を聞きました。

祖父とウォーキングパトロールに参加しての体験から、学校の行き帰り自分の方から挨拶をしているうちに、多くの人と知り合いになりました。あいさつはまわりとの結びつきを大事にし、ふだんから積極的に「出来ることから」を教えられました。

映画鑑賞は「一緒にあるいていこう」。

人を傷つけみずからも傷ついた少年を変えたのは、老人ホームの奉仕活動とあゆみとの出会いでした。感謝される喜び、支えてくれるたくさんの仲間との出会い。

一少年は変わっても世間の目は冷たい一

講演は長野少年鑑別所<sup>きの</sup> 紀 恵理子所長の少年鑑別所の現場から、非行少年の心一彼らが求めるもの、私たちが援助できること一。

まだお若くて美しい女性所長さんのお話は一つ一つが大変心打たれるものでした。

～規範意識は大切な人から学びます～

万引き(窃盗)は非行の始まりです。

それには、やり直せる社会に！地域の絆、「地域力」の大切さを重く感じさせられました。暑く熱く燃えた午後でした。



## 第35回 中学生ボーリング大会開催

7月24日(日)第35回中学生球技大会が、ヤングファラオで開催されました。

始球式は住民自治協議会会長の湯沢角雄様に務めて頂きました。

10時開会、1人2ゲームと短時間ではありましたが、皆とても楽しそうでした。

ゲーム後の感想では、楽しかったという声が多く、また、順位が良かったので嬉しかったと満面の笑みで答えてくれました。

### 成績発表 (敬称略)

男子	女子
優勝 西尾張部・池田拓海(3年)	優勝 中村・林 彩花(2年)
2位 南長池・永井将貴(3年)	2位 西尾張部・青木理咲子(3年)
3位 五分一・島田弥丘都(2年)	3位 北条・塩野入みなみ(2年)



## 古牧地区親善ゴルフ大会 五分一が団体優勝

7月27日(水)住民自治協議会主催の古牧地区親善ゴルフ大会が長野カントリークラブで開催されました。心配された天候も曇りで、古牧13地区から95名が参加、26組でゴルフを楽しみながら親睦を深めました。

### 入賞者

順位	氏名 (敬称略)	スコア	地域
優勝	長田 元行	70.6	南長池
準優勝	庄田 浩之	70.8	平林
3	山口 悦正	71.0	五分一
4	中村 守男	72.0	北条
5	宇佐美修造	72.0	平林

※順位決定方法 (新ペリア)

### 団体戦順位

順位	地域	スコア	氏名 (敬称略)
1	五分一	246	山口・鈴木・滝沢
2	平林	253	児島・庄田・鮑田
3	西尾張部	260	増田・小嶋・塚田
4	南長池	265	長田・高橋・長田
4	東和田	265	利根川・宮下・金澤

## 第28回 古牧地区公民館対抗球技大会

8月21日(日)公民館対抗球技大会が開催され、雨で野球は中止、卓球と排球が行われました。

**排球** 優勝：南高田 準優勝：西尾張部  
3位：西和田 4位：川端

12チームが参加し、熱烈な応援も加わって「ママさんバレー」の域を超えた好プレーが続出しました。西尾張部チームは今回ノーシードながら決勝戦まで全てフルセットの接戦を勝ち抜き、惜しくも決勝戦では力尽きましたがその頑張りは見事でした。優勝の南高田チームは安定した戦いを展開し大会を制しました。



**卓球** 優勝：北条A 準優勝：南高田  
3位：南長池A・B



卓球は古牧社会体育館で、6地区から10チーム参加して熱戦が展開されました。競技はA Bのブロックに分かれ5チーム総当たりのリーグ戦を行ない、Aブロックから南高田・南長池A、Bブロックから北条A・南長池Bが決勝トーナメントに進みました。決勝戦は北条Aと南高田で行なわれ3：1で北条Aが南高田の2連覇を阻み、優勝しました。

## 投票率アップで最下位脱出を!!

9月18日(日)は長野市議会議員一般選挙です。前回平成19年の古牧地区内各投票所の投票率は、つぎの通りでした。

投票所	投票率	順位
南部小学校体育館	40.34%	116
櫻ヶ岡中学校体育館	40.57%	115
古牧小学校体育館	35.26%	119
三陽中学校体育館	44.07%	108
長野市	49.71%	

※市内投票会場数 119

### お 詫 び

平成23年7月15日発行のふらネットこまき31号、4ページの『民生児童委員研修へ』の文章中に誤りがありましたので、訂正させていただきます。

(誤) 小田原市厚生保護施設報徳厚生寮

(正) 小田原市更生保護施設報徳更生寮

住民参加の楽しい荒屋

(公民館開放・わらび狩り)

区長 矢澤 速久

三世交流を目標に、荒屋地区でもささやかに実践を重ねております。

数少ない三世交流ですが、老いた地区の重鎮も、数少ない小学生も、可愛い幼児も母親と共に参加していただきます。福祉推進員・民生児童委員の皆さんが中心になって企画推進し、折り紙を親子で楽しんだり、ささやかに

な茶菓で楽しんでおります。過去に地区行政に係わって下さった先輩の皆さんと、新しく荒屋の住民に加わって地域に溶け込もうとしてくださる若いお母さん方の会話を中心に、溶け合うことは将来に向かって大変有意義なことと確信しております。今後も着実に実践していきたいと考えております。

6月に公民館活動の一環として、高山村の山田牧場の温泉へわらび狩りを目標に、日帰り旅行を行いました。年々参加者も多くなり(特に新しく荒屋に居住して下さった方も参加して下さいます)わらびを取ったり、温泉と懇親会を中心に、皆さんが楽しんでくださる雰囲気は、将来の荒屋の活気ある姿であると自信をもっています。

小さな地区ではありますが、心をかよわせ静かに着実に動いています。小さいなりにささやかに活動することが将来に生きて働くことと信じております。



イベント紹介

- 9月17日(土) 南部小学校運動会
- 9月27日(火) 戦没者追悼法要 西光寺
- 9月30日(金)~10月1日(土) 櫻ヶ岡中学校・三陽中学校文化祭
- 10月16日(日) ふれあい教室・ウォークラリー

古牧地区の世帯数と人口

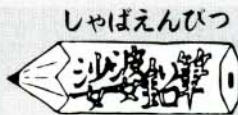
23年8月1日現在

10,501 世帯

26,063 人

(男 12,883人 女 13,180人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷



古牧地区住民自治協議会の出自

百二十一年前の明治二十二年(一八八九年)明治政府の方針により日本中に市制町村制の実施が図られました。現古牧地区の合併案はいろいろあり協議不成立でした。そこで県知事の命令によって、高田村・南長池村・西尾張部村・東和田村・西和田村・平林村・三輪村荒屋組の六村一組が合併して行政村古牧村が始まりました。同年四月一日のことです。

村議会と村役場も構成され、小学校も木村一学区で高田学校本校舎が古牧尋常小学校とされました。古牧村巡査駐在所は五月にでき、村役場も十月に完成しました。以後大正十二年(一九二三年)七月一日に長野市に編入合併するまでの三十四年間に古牧村の時代です。

現在の十三地区は旧古牧村の区域そのものです。十三地区それぞれの歴史や伝統が古牧地区の歴史や伝統として反映されているわけです。

市街地に近い農村地帯として始まりましたが、いまでは戸数や人口は三十二地区住民自治協議会のなかでも有数です。地の利と人の利を併せ持つ古牧地区住民自治協議会に課せられるものは、なによりも古牧地区住民の福利厚生を図ることでしょう。

本年のスローガン『より安全・安心・住みよい古牧を自分たちでつくろう』に尽きますが住民からの信任と住民の参加があってそれは実現されるわけです。

(丸山正一)